

# 算数科学習指導案

実施期間 10月16日(木)～11月7日(金)  
実施場所 協力校  
実施学年 第6学年 少人数指導1クラス  
授業者 野口 直樹

## 1 単元名 分数のかけ算とわり算を考えよう(1)

### 2 考察

#### (1) 児童の実態 (男子12名、女子14名、計26名)

算数について、ほとんどの児童が意欲的に学習に取り組み、課題が出されるとすぐに取りかかることのできる児童が多い。積極的に挙手をして発言をする児童は少ないが、指名すると自分の式や答えを発言したり、やり方を説明したりすることはできる。しかし、発言や説明の内容は式と答えを言うことがほとんどであり、どのように考えたのか、どうしてそう考えたのかなど根拠となる考えを書いたり、説明したりする児童は少ない。

分数についての既習事項を確認してみると、 $\frac{3}{5}$ が1を5等分した3つ分であることや $\frac{1}{5}$ の3つ分を表すということ、 $\frac{3}{5}$ と等しい分数に直すことや $\frac{3}{5} = 3 \div 5$ という関係も全ての児童が理解できている。しかし、もともになる大きさの $\frac{3}{5}$ という割合の意味については理解できていない児童がいる。

「分数のたし算とひき算」での異分母分数の加減計算は、ほとんどの児童が正しく通分し答えを導くことができているが、最小公倍数で通分していない児童や約分することを忘れていた児童がいる。

計算の仕方や考え方について問うと、図や言葉で書いている児童は $\frac{2}{3}$ 程度いて、どのように考え計算しているか説明しようとする傾向が見られる。通分について同分母の同値分数の図を書き、分かりやすく記述している児童が数名いるが、きちんと筋道立てて書いている児童は少ない。

未習事項の分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算については、全く答えていない児童は2名で、7名の児童が全て正答している。答えを書いた児童の中で、計算式を書いた児童は少数で、正答を出した児童のほとんどはすぐに答えを書いている。正答を導いた計算式はすべて正しく計算されていて、これは塾などで習っているためと思われる。誤答の児童の計算の仕方を見てみると、分母を通分している児童が多い。少数ではあるが、分数を小数に直して計算している児童がいる。また、同値分数の考えを使っていた児童もいて、既習事項を使って考えようとする様子が見られる。分数÷整数の計算の仕方や考え方についての問いに対して、絵や図などを使って考えられた児童が多く、図だけで答えを導いている児童もいる。このように、計算については理解できる児童が多いが、その計算の仕方や考え方をうまく説明できる児童は少ない。しかし、問題を解決するために図や言葉を使って考えようとする児童は多い。

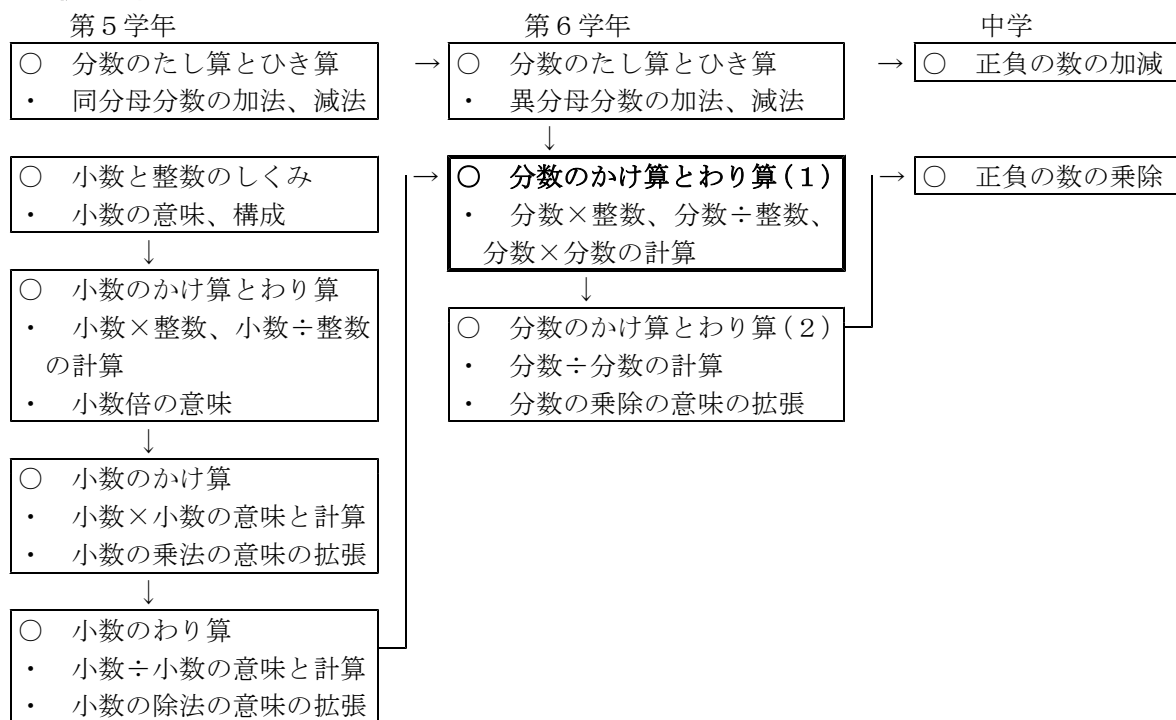
#### (2) 教材観

本単元は、学習指導要領算数科の第6学年の目標「(1)分数の乗法及び除法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにする。」を受け、分数の乗除の計算のうち、分数に整数をかける乗法、分数を整数でわる除法、分数に分数をかける乗法を扱う。

子どもたちは、第4学年で、ある量の大きさを何等分かした一つ分を表すとか、ある量の端数部分の大きさを表す数として、分数の表し方とその意味、分数の性質を学習した。その理解の上に、第5学年では、同分母分数の加法及び減法を学習し、さらに分数が、二つの整数の除法の結果を表す商分数であることを学習してきた。また、小数のかけ算わり算において、乗数が整数の乗除を学習してきた。そこで、本単元での分数の乗法については、既習事項の小数の乗法の考え方から分数へ乗法の意味の拡張を行い、立式させることができると考える。分数に整数をかける計算では、小数のかけ算で0.1を単位として、整数のかけ算をもとにして考えたように、単位分数を単位として答えを導き出すことができると考える。すでに計算の仕方を形式的に知っている児童もいるが、計算の仕方や考え方の根拠を既習の考えを使って、式や図、言葉で理解できるようにしていくことは児童にとって意欲をもって取り組めると考える。分数に分数をかける計算では、「1つ分の量×いくつ分＝全体の量」の関係をもとに立式は容易と思われるが、分数を割合とみる考え方は小数に比べ難しいと思われるので、計算方法を導き出すことは簡単ではない。そこで、図を使って計算の意味について理解できるようにしていきたい。単位分数に着目して考える方法や「乗数にかけた数で積をわればもとにもどる」という小数の乗法の際に用いた考え方を振り返り、既習事項から考えを発展させて解決できることを理解することで算数のよさを感じることもできると考える。その際

にも、数直線や面積図などを用いて計算の仕方や考え方を丁寧に扱うようにして理解できるようにしていくことで、児童に未習事項に対して自ら解決していこうとする意欲を育てることにもなると考える。分数の除法については、本単元では、分数を整数でわる計算のみを扱う。同値分数をつくるという考えをもとに分母に整数をかける方法を導くが、すでに計算の仕方を形式的に知っている児童もいる。その際も数直線や面積図などを用いて計算の仕方や考え方を丁寧に扱うことが、次単元の分数を分数でわる学習の理解を深め、考えを表現することに結び付くと考える。

### 3 系統及び関連



### 4 指導方針

- 既習事項の整数や小数の乗除の学習を生かして立式できるようにするために、小数の乗除の復習の場面では、問題の文章を分数の乗除と同じ文体で出題していく。
- 分数の計算では、分母をそろえることが単位をそろえることになるということを理解できるようにするために、単位分数の考え方をを使って問題を解決できるようにしていく。
- 既習事項を生かして学習できるようにするために、小数の計算において、乗数や被乗数、除数や被除数を10倍、100倍することで整数化して計算した考え方をを使って、分数の計算も整数の計算に帰着して考えられるようにしていく。
- 問題の把握から解決の方法、計算の仕方、結果までを筋道立てて考えることができるようにするために、考えた筋道を記述していく学習活動を取り入れていく。
- 自分の考えを表現することができるようにするために、考えた筋道を自分なりの図や式、言葉を使って、分かりやすく記述して表していくというめあてをもって学習を進めていく。
- 計算の仕方や考え方を筋道立てて正しくはっきりと分かるよう記述できるようにするために、段階を追ってかき表すようにしていく。
- 意欲的に学習に取り組めるように、記述については、初めからきちんとかき表せなくてもよいことを伝え、どんな表現でも自分の考えをかいていく態度を認めていく。
- 自分なりの表現方法で表現しようとする態度を育てるために、つかむ過程において、既習の小数の計算について復習をする際に、数直線や面積図などの図や式で考えを記述する表現のポイントを見付ける練り合う活動を取り入れていく。
- 筋道立てて表現できるように表現ポイントを明確にするために、追究する過程において、分数に整数をかける計算と整数でわる計算の際に、互いの表現を比較し、よりよい表現を見付ける練り合う活動を取り入れていく。
- 根拠を考えていくことができるようにするために、まとめる過程において、分数に分数をかける計算

の際に、図的表現と記号的表現を結び付ける練り合う活動を取り入れていく。

- よりよい表現にしていけるようにするために、考えた筋道の記述を練り合う活動では、子どもたちがかき表した表現を取り上げ、正しくかけている、はっきりして分かりやすい、くわしくかけているなどを視点に互いの記述を比較し、話し合っていく。
- よりよい表現にしていけるにはどのように記述したらよいか気付けるようにするために、教師側で不十分なかき表し方を提示し、比較し考えるようにしていく。
- よりよい表現にしていけるために出された児童の意見は、表現のポイントとしてまとめ、記述していく際の参考にしたり、表現したものを振り返る際に自己評価したりできるようにしていく。

## 5 検証計画

過程	検証の観点	検証の方法
つかむ	小数の計算を復習する問題の場面で計算の仕方や考え方を表現する際に、自分なりの表現のポイントを見付けるために練り合う活動を取り入れたことは、自分なりの表現方法を明確にすることに有効であったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習活動の観察</li> <li>○ 学習プリントの記述</li> <li>○ 発言内容</li> <li>○ 授業後の感想</li> </ul>
追究する	分数×整数、分数÷整数の問題の場面で計算の仕方や考え方を表現する際に、表現内容を比較し、よりよい表現を見付けるために練り合う活動を取り入れたことは、よりよい表現にするための表現のポイントを明確にすることに有効であったか。	
まとめる	分数×分数の問題の場面で計算の仕方や考え方を表現する際に、図的表現と記号的表現を結び付けるために練り合う活動を取り入れたことは、考えた根拠を明確に表現することに有効であったか。	

## 6 単元の目標

分数において、分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算の意味について理解し、その計算の仕方を図的表現、記号的表現を用いて考え、適切に表現することができる。

## 7 評価規準

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算を、整数、小数の乗除の考え方を基にして考えることよき気付いたり、図的表現、記号的表現を用いて考え、進んで記述したり説明したりしようとしている。	分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算の意味を、整数、小数の乗除の考え方から考えたり、分数の計算の仕方を図的表現、記号的表現を用いて、筋道立てて考えたりしている。	分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算ができ、その計算の仕方を図的表現、記号的表現を用いて記述したり説明したりできる。	分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算の意味やその計算の仕方を理解している。

## 8 指導計画（全12時間）

過程	時	○ねらい・学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目（評価方法）
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小数の計算の仕方を自分なりの図で表すことができる。</li> <li>・ 小数の乗除の問題を図で表し計算する。</li> <li>・ 図で表した計算の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分数の乗除のために、分数の問題文と同じ文体にして数値を小数にしたものを提示し、小数の計算の考え方を図で表し、これからの学習につながるようにする。</li> <li>・ 問題の意味をとらえ、立式できたら計算の仕方や考え方も図にかいて表すようにする。</li> <li>・ わり算で小数点を動かし整数と見て計算する仕方については確認しておく。</li> <li>・ いろいろに表現されたものを、正しく分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈関・意・態〉</li> <li>・ 自分で選んだ表現で計算の仕方や考え方を記述しようとしている。（学習プリント、観察）</li> </ul>

つ か む	<ul style="list-style-type: none"> <li>2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕方を発表し、お互いの表現を練り合う。</li> <li>分数の意味を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かりやすく表すためにはどう記述するとよいか話し合えるよう助言する。</li> <li>式だけだと分かりにくいので、図もかいたほうがよいことや一つにまとめてあると分かりにくいので、考えた筋道が分かるよう分けて記述した方がよいことに気付けるように例示する。</li> <li>どのような図でも子どもなりの表現を認めていく。(テープ図、数直線、面積図など)</li> <li>練り合いで出された意見をポイントとしてまとめる。</li> <li>練り合いから自分の記述を見直し、より分かる記述を書いてみるよう促す。</li> <li>分数についての既習事項を振り返り、意味の確認や図での表し方を確かめられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈表・処〉</li> <li>計算の仕方や考え方を式や図、言葉で表し問題を解くことができる。(学習プリント)</li> </ul>
分数の計算の仕方を式や図、言葉などを使って自分の考えが伝わるように表そう。				
追 究	<ul style="list-style-type: none"> <li>3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分数×整数の計算の意味を理解できる。</li> <li>問題の意味をとらえ立式をする。</li> <li>○分数×整数の計算の仕方や考え方を自分の表現で表すことができる。</li> <li>図をかいて答えの求め方を考え、式や言葉で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題文を読み、分かっていることや求めることを見つけ出し、小数の問題を思い出し、問題の数量関係が何算で求められるかを考えていけるよう助言する。</li> <li>分数×整数も小数のかけ算と同じ数量関係であったことを確認し立式できるようにする。</li> <li>計算の仕方や考え方を数直線や面積図などを用いて考えるよう助言する。</li> <li>図をかく際は、考えた筋道が分かるように、段階を分けてかくとよいことに気付けるよう助言する。</li> <li>まず、1dl で <math>2/5</math> m<sup>2</sup>塗れるペンキを図で表すようにし、その図から、2dl で塗れる面積を求めるやり方が分かるように次の図を表していくようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈関・意・態〉</li> <li>分数×整数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述しようとしている。(学習プリント、観察)</li> <li>〈表・処〉</li> <li>計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使って記述することができる。(学習プリント)</li> </ul>
す る	<ul style="list-style-type: none"> <li>4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分数×整数の計算の仕方や考え方を表現できる。</li> <li>図や式、言葉などをかいて求めた考えを発表し、お互いの表現を練り合う。</li> <li>分数×整数の計算の仕方をまとめる。</li> <li>練習問題をやる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろに表現されたものを、考えた筋道が分かるように正しく表すためにはどうするか話し合うよう助言する。</li> <li>実線や点線、網掛けなどの工夫や色ペンなどの使用も考えるよう促す。</li> <li>よい表現ができていない記述を紹介したり賞賛したりする。</li> <li>考えた筋道が不十分な表現を提示し比較することで、表現のポイントを見付けられるようにする。</li> <li>単位分数がいくつあるかを求めるために分子に整数をかけることをとらえられるようにする。</li> <li>分数×整数の計算は、分子に整数をかければよいことを言葉でまとめるよう促す。</li> <li>分数×整数の計算の仕方を図で表し、答えを求めるよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈表・処〉</li> <li>分数×整数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述したり説明したりできる。(学習プリント、発言)</li> <li>〈考〉</li> <li>分数×整数の計算を、単位分数のいくつ分をとらえて整数のかけ算を基に考えている。(学習プリント、</li> </ul>

追 究 す る	5	<p>○分数÷整数の計算の意味を理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の意味をとらえ立式をする。</li> </ul> <p>○分数÷整数の計算の仕方や考え方を自分の表現で表すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図をかいて答えの求め方を考え、式や言葉で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文を読み、分かっていることや求めることを見つけ出し、小数の問題を思い出し、問題の数量関係が何算で求められるかを考えていけるよう助言する。</li> <li>・分数÷整数も小数のわり算と同じ数量関係であったことを確認し立式できるようにする。</li> <li>・計算の仕方や考え方を数直線や面積図などを用いて考えるよう助言する。</li> <li>・図をかく際は、考えた筋道が分かるように、段階に分けてかくとよいことに気付けるよう助言する。</li> <li>・まず、3dl で <math>4/5</math> m<sup>2</sup>塗れるペンキを図で表すようにし、その図から、1dl で塗れる面積を求めるやり方が分かるように次の図を表していくようにしていく。</li> </ul>	<p>発言)</p> <p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数÷整数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述しようとしている。 (学習プリント、発言)</li> </ul> <p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使って記述することができる。 (学習プリント)</li> </ul>
	6	<p>○分数÷整数の計算の仕方や考え方を表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式や数直線、面積図などをかいて求めた考えを発表し、お互いの表現を練り合う。</li> </ul> <p>・分数÷整数の計算の仕方をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題をやる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろに表現されたものを、考えた筋道がはっきり分かるように表すためにはどうするか前時を振り返り話し合えるよう助言する。</li> <li>・正しく記述できている点、分かりやすく記述できている点、工夫して記述できている点など表現のよい点を見付けられるように助言する。</li> <li>・考えた筋道が不十分な表現を提示し比較することで、よりよい表現を見付けられるようにする。</li> <li>・練り合いで出された意見はポイントとしてまとめる。</li> <li>・分数÷整数の計算は、分母に整数をかければよいことを言葉でまとめるよう促す。</li> <li>・分数÷整数の計算の仕方を図で表し、答えを求めるよう促す。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数÷整数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述したり説明したりできる。 (学習プリント、発言)</li> </ul> <p>〈考〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数÷整数の計算を、1にあたる量が単位分数のいくつ分なのかを求め計算をとらえて考えている。 (学習プリント、発言、観察)</li> </ul>
ま と め る	7	<p>○分数×分数の計算の意味を理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の意味をとらえ立式をする。</li> </ul> <p>○分数×分数の計算の仕方や考え方を自分の表現で表すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図をかいて答えの求め方を考え、式や言葉で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文を読み、分かっていることや求めることを見つけ出し、小数の問題を思い出し、問題の数量関係が何算で求められるかを考えていけるよう助言する。</li> <li>・分数×分数も小数のかけ算と同じ数量関係であったことを確認し立式できるようにする。</li> <li>・計算の仕方や考え方を数直線や面積図などを用いて考えるよう助言する。</li> <li>・図をかく際は、考えた筋道がはっきり分かるようにするために、どのように段階を分けてかくとよいか考えてかくよう促す。</li> <li>・まず、1dl で <math>4/5</math> m<sup>2</sup>塗れるペンキを図で表し、その図から、<math>2/3</math>dl で塗れる面積を求めるやり方が分かるように次の図を表していくようにしていく。</li> </ul>	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×分数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述しようとしている。 (学習プリント、観察)</li> </ul> <p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使って記述することができる。 (学習プリント)</li> </ul>
		○分数×分数の計算	・いろいろに表現されたものを、考えた筋	〈表・処〉

<p>まとめ</p> <p>8</p>	<p>の仕方や考え方を表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>式や数直線、面積図などをかいて求めた考えを發表し、お互いの表現を練り合う。</li> <li>分数×分数の計算の仕方をまとめる。</li> <li>練習問題をする。</li> </ul>	<p>道を正しく分かりやすく伝えるためにはどうするか話し合うよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えた根拠が分かるような表現を提示し、比較することで、図と式を結び付けられるようにする。</li> <li>考えた筋道が分かるように段階を追って記述できているか、表現のポイントを参考に考えるよう促す。</li> <li>分数×分数の計算は、いくつに分けるかを求めるために分母同士をかけ、分けたものがいくつあるかを求めるために分子同士をかければよいことを言葉でまとめられるようにする。</li> <li>分数×分数の計算の仕方を図で表し、答えを求めるよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数×分数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて筋道立てて考え、記述したり説明したりできる。(学習プリント、発言)</li> <li>〈考〉</li> <li>分数×分数の計算を、単位分数のいくつ分ととらえて既習の計算と関連づけて筋道立てて考えている。(学習プリント、発言、観察)</li> </ul>
<p>9</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分数の計算で、途中で約分できる場合の計算の仕方を理解し、計算ができる。</li> <li>○整数×分数の計算の意味を理解し、計算ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算の仕方で工夫できることがあるか見付けるよう促す。</li> <li>計算の途中で約分できるときは、約分してから計算すると簡単にできることに気付けるようにする。</li> <li>答えを出してから約分すると分母と分子が大きくなり、約分することが大変になることに気付けるようにする。</li> <li>整数を分母が1の分数と考えれば、分数×分数の計算の考え方でできることに気付けるようにする。</li> <li>既習の分数×整数の計算も同じように考えてできることに気付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈表・処〉</li> <li>計算の途中で約分すると簡単に処理できることのよさに気づき、約分してから計算できる。(ノート、発言、観察)</li> <li>〈表・処〉</li> <li>整数×分数の計算ができる。(ノート)</li> </ul>
<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○辺の長さが分数の場合も面積の公式を使えることが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積図に表し、<math>1/(5 \times 8) \text{ m}^2</math>を単位として、長方形の面積を求められるようにする。</li> <li><math>3/5 \times 7/8</math>の結果と面積図で求めた答えを比べ、辺の長さが分数の時も面積の公式を使えることをまとめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈知・理〉</li> <li>分数の場合も面積の公式が適用できることを理解している。(ノート)</li> </ul>
<p>11</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分数でも交換、結合、分配の法則が成り立つことが分かり、その計算のきまりを使って計算できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>辺の長さが分数で表された長方形の面積を計算して比べることで、交換、結合、分配法則が成り立つことに気付けるようにする。</li> <li>整数、小数の時と同じように、分数でも交換、結合、分配法則が成り立つことを言葉と記号でまとめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈知・理〉</li> <li>分数の場合も交換結合、分配の法則が成り立つことを理解している。(ノート)</li> </ul>
<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分数の計算の意味を理解し、計算の仕方や考え方を式や図、言葉で記述し、いろいろな分数の計算ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容を正しく用いて問題を解決するよう促す。</li> <li>今までの学習を振り返り、考えた筋道が正しく分かりやすく筋道立ててかけているか考えながらかくよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈知・理〉</li> <li>乗数が整数である乗除と乗数が分数である乗法の計算の意味やその計算の仕方を理解している。(ノート)</li> </ul>

(1) 本時の展開 (1/12 時間目) 【つかむ過程】

10月16日(木)

ねらい

・小数のかけ算の計算の仕方や考え方を自分なりの図で表わすことができる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ホワイトボード、実物投影機

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を知る。</li> <li>・小数のかけ算の計算を振り返ろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの整数、小数の四則計算を振り返り、これから学習する分数の乗除について関心を高められるようにする。</li> <li>・分数の乗除の計算のために、小数の乗除の計算の仕方や考え方を確かめることを伝える。</li> </ul>	
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数のかけ算を計算し、図に表す。</li> <li>1dl で 2.5 m<sup>2</sup> 塗れるペンキがあるとき、2dl で塗れる面積の求め方を式や図、言葉でかこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の乗法の立式を理解しやすくするために、分数の問題文と同じ文体にして数値を小数にしたものを提示する。</li> <li>・具体物を提示し、問題の意味がとらえやすくできるようにする。</li> <li>・小数の計算の考え方を式や図、言葉で表し、分数の計算の学習につながるようにする。</li> <li>・問題の意味をとらえられない児童には図をかき、そこから立式できるようにする。</li> <li>・立式できたら計算の仕方や考え方を式や図言葉にかいて表すように促す。</li> <li>・早くできた児童には他のかき方も考えてみるよう助言する。</li> <li>・自分なりの記述ができていない児童を賞賛し必要に応じて紹介する。</li> <li>・早くかけた児童にはホワイトボードにかき写しておいてもらう。</li> </ul>	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で選んだ表現で計算の仕方や考え方を記述しようとしている。(学習プリント、観察)</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの計算の仕方や考え方を発表し、表現を練り合う。</li> <li>計算の仕方や考え方を分かりやすくかけるようにしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように計算し考えたのか、自分のかいた式や図、言葉を発表するよう促す。</li> <li>・どのような図でも子どもなりの表現を認めていく。(絵、テープ図、数直線、面積図など)</li> <li>・正しくはっきりかこうとしている記述を賞賛し、紹介する。</li> <li>・ホワイトボードに記述したものを掲示する。ほかの児童の表現も必要に応じて実物投影機で提示する。</li> <li>・いろいろな表現されたものを、「正しく伝える」「はっきり分かる」を視点に、どのように記述したらよいか問いかける。</li> <li>・分かりにくい記述を用意しておき、必要に応じて、例示していく。</li> <li>・式だけだと分かりにくいので、図もかいたほうがよいことに気付かせる。</li> <li>・一つにまとめてあると分かりにくいので考えた筋道が分かるよう分けて記述した方がよいことに気付かせる。</li> <li>・出された意見はよい記述にしていく表現のポイントとしてまとめておく。</li> <li>・整数とみて計算する考え方を確認しておく。</li> <li><math>2.5 \times 2 = 2.5 \times 10 \div 10 \times 2</math> <math>= 25 \times 2 \div 10 = 50 \div 10 = 5</math></li> <li>・0.1 を単位とした考え方を確認しておく。</li> <li><math>2.5 \times 2 = 0.1 \times 25 \times 2 = 0.1 \times 50 = 5</math></li> <li>・計算の仕方や考え方は式や図、言葉で正しくはっきりかいてあると理解しやすいことに気付かせるようにする。</li> <li>・練り合いから自分の記述を見直し、より分かる記述をかいてみるよう促す。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方や考え方を式や図、言葉で表し、問題を解くことができる。(学習プリント)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の感想を書き次時のめあてを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方や考え方をかいてみての感想を中心に書くよう伝える。</li> <li>・次の時間は小数のわり算の表現を練り合う活動をするを知らせる。</li> <li>・学習プリントは途中でよいことを知らせ回収する。</li> </ul>	

(2) 本時の展開 (2/12 時間目)【つかむ過程】

10月17日(金)

ねらい

・小数のわり算の計算の仕方や考え方を自分なりの図で表すことができる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ホワイトボード、実物投影機

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目 (評価方法)
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を知る。</li> <li>・小数のわり算の計算を振り返ろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習と同じように、小数のわり算の計算の仕方や考え方を式や図、言葉でかいていくこと伝える。</li> </ul>	
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数のわり算を計算し図に表す。</li> <li>3dl で 2.4 ml 塗れるペンキがあるとき、1dl で塗れる面積の求め方を式や図、言葉でかこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の除法の立式を理解しやすくするために、分数の問題文と同じ文体にして数値を小数にしたものを提示する。</li> <li>・小数の計算の考え方を式や図、言葉で表し、分数の計算の学習につながるようにする。</li> <li>・問題の意味をとらえられない児童には図をかき、そこから立式できるようにする。</li> <li>・立式できたら計算の仕方や考え方を式や図、言葉にかいて表すように促す。</li> <li>・早くできた児童には他のかき方も考えてみるよう助言する。</li> <li>・自分なりの記述ができている児童を賞賛し、必要に応じて紹介する。</li> <li>・早くかけた児童にはホワイトボードにかき写しておいてもらう。</li> </ul>	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で選んだ表現で計算の仕方や考え方を記述しようとしている。(学習プリント、観察)</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの計算の仕方や考え方を発表し、表現を練り合う。</li> <li>計算の仕方や考え方を分かりやすくかけるようにしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように計算し考えたのか、自分のかいた式や図、言葉を発表するよう促す。</li> <li>・どのような図でも子どもなりの表現を認めていく。(絵、テープ図、数直線、面積図など)</li> <li>・正しくはっきりかこうとしている記述を賞賛し、紹介する。</li> <li>・ホワイトボードに記述したものを掲示する。ほかの児童の表現も必要に応じて実物投影機で提示する。</li> <li>・いろいろな表現されたものを、「正しく伝える」「はっきり分かる」を視点に、どのように記述したらよいか問いかける。</li> <li>・分かりにくい記述を用意しておき、必要に応じ、例示していく。</li> <li>・前時に出されたポイントを確認し、新たに出された意見もポイントとしてまとめ、よりよい表現にしていけるようにする。</li> <li>・整数とみて計算する考え方を確認しておく。</li> <li> <math display="block">2.4 \div 3 = (2.4 \times 10) \div (3 \times 10)</math> <math display="block">= 24 \div 30 = 0.8</math> </li> <li>・0.1 を単位とした考え方を確認しておく。</li> <li> <math display="block">2.4 \div 3 = 0.1 \times 24 \div 3 = 0.1 \times 8 = 0.8</math> </li> <li>・計算の仕方や考え方は式や図、言葉で正しくはっきり段階に分けてかいてあると理解しやすいことに気付けるようにする。</li> <li>・練り合いから自分の記述を見直し、より分かる記述をかいてみるよう促す。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方や考え方を式や図、言葉で表し、問題を解くことができる。(学習プリント)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の意味と表し方を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数についての既習事項を振り返り、分割操作、量としての大きさ、割合、商分数などの意味を確かめるようにする。</li> <li>・分数を子どもなりの記述で表すようにし、必要に応じて教師が例示する。(数直線、ピザ図、テープ図、面積図など)</li> <li>・図の表し方は子どもなりのものを認め、計算の仕方や考え方を表すときに使っていくことを伝える。</li> <li>・単位分数について復習し、分数の計算では分母をそろえることが単位をそろえることになることを確認する。</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時のめあてを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の時間から分数の計算について、それぞれの表現を練り合う活動をするを知らせる。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方や考え方をかいてみての感想を中心に書くよう伝え、学習プリントを回収するようにする。</li> </ul>	



(3) 本時の展開 (3/12 時間目) 【追究する過程】

10 月 20 日 (月)

ねらい

- ・ 分数×整数の計算の仕方や考え方を自分の表現で表すことができる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ホワイトボード

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の課題を知る。</li> <li>・ 分数×整数の計算をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の学習で確認した分数の表し方を使って小数の計算の仕方や考え方と同じように分数のかけ算の計算の仕方や考え方を式や図、言葉でかいていくことを伝える。</li> </ul>	
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分数×整数の計算をする。</li> <li>・ 1dl で 2/5 m<sup>2</sup>塗れるペンキがあるとき、2dl で塗れる面積を求める式を考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題文を読み、分かっていることや求めることを見つけ出し、小数の問題を思い出し、問題の数量関係が何算で求められるかを考えていけるよう助言する。</li> <li>・ 分数×整数も小数のかけ算と同じ数量関係であったことを確認し立式できるようにする。</li> <li>・ 式が <math>2/5 \times 2</math> となることを確認しておく。</li> </ul>	
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分数×整数の計算の仕方や考え方を自分の表現で表す。</li> <li>・ <math>2/5 \times 2</math> の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使ってかこう。</li> <li>・ 数直線や面積図などのかいて答えの求め方を考え、式や言葉で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の小数のかけ算の計算の仕方や考え方をかいたものを提示し、かき方の参考にできるようにする。</li> <li>・ <math>2/5 \times 2</math> の答えの出し方を、式だけでなく図や言葉などを用いて、友だちにわかるようにかいていくよう促す。</li> <li>・ 答えは間違えていても良いので、その答えになった考えをかくよう促す。</li> <li>・ 小数の乗除の計算の記述で出された表現のポイントを参考に、よい記述にしていくよう助言する。</li> <li>・ 数直線や面積図をかく際は、考えた筋道が分かるように、段階を分けてかくよう促す。</li> <li>・ まず、1dl で 2/5 m<sup>2</sup>塗れるペンキを図で表すようにする。</li> <li>・ その図から、2dl で塗れる面積を求めるやり方が分かるように次の図を表していくようにする。</li> <li>・ 一つにまとめてかくのではなく、考えた筋道が分かるように分けてかくよう助言する。</li> <li>・ うまくかき表せない児童や取り組めない児童に対しては、見本となる図を提示し、活動を促していく。</li> <li>・ 早くできた児童には他のかき方も考えてみるよう助言する。</li> <li>・ 自分なりの記述ができていない児童を賞賛し必要に応じて紹介する。</li> <li>・ 早くかけた児童にはホワイトボードにかき写しておいてもらう。</li> </ul>	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分数×整数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述しようとしている。(学習プリント、観察)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の時間にそれぞれの表現を練り合う活動をすることを知らせる。</li> <li>・ 学習プリントは途中でよいことを知らせ回収するようにする。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使った自分の表現で記述することができる。(学習プリント)</li> </ul>

(4) 本時の展開 (4/12時間目)【追究する過程】

10月21日(火)

ねらい

・分数×整数の計算ができ、その計算の仕方や考え方を表現できる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ホワイトボード、児童の学習プリントの拡大コピー、練習問題プリント

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を知る。</li> <li>分数×整数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使って分かるようにかけるようにしよう。</li> <li>・式や数直線、面積図などをかいて求めた考えを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような図でも子どもなりの表現を認めていく。</li> <li>・よくできたものだけでなく、不十分なものや間違えたものも学習に生かせることを伝え、互いの考えや意見を出しやすい雰囲気作りに努める。</li> <li>・前時にホワイトボードにかいた記述や、学習プリントを拡大コピーしたものを掲示する。</li> </ul> <p>[小数の考え]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>2/5</math>は<math>0.4</math>なので、  <math>2/5 \times 2 = 0.4 \times 2 = 0.8</math>  <math>0.8 = 8/10 = 4/5</math></li> </ul> <p>[たし算の考え]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>2/5 \times 2</math>は<math>2/5</math>が二つ分なので、  <math>2/5 \times 2 = 2/5 + 2/5 = 4/5</math></li> </ul> <p>[単位分数の考え]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>2/5</math>は<math>1/5</math>が二つ分でその2倍なので、  <math>2/5 \times 2 = 1/5 \times 2 \times 2 = 1/5 \times 4 = 4/5</math></li> </ul>	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の計算の仕方や考え方を発表しようとしている。(発言)</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの表現を練り合う。</li> <li>計算の仕方や考え方が正しくはっきり分かるかき方をみんなで考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろに表現されたものを「考えがはっきり分かる」を視点に、どちらが分かりやすいか比較できる表現を提示し、意見が出やすいようにする。</li> <li>・出された表現から正しくはっきりして分かりやすい記述とはどのようなになっているとよいか感じたことを出すよう促す。</li> <li>・正しくかくことやはっきりと記述すると考えが分かりやすくなることに気付けるように図をつなげてかいた表現と離してかいた表現を提示し、どちらのかき方が考えが分かりやすいか、比較できるようにする。</li> <li>・出された意見はよい記述にしていくポイントとして板書しまとめておく。</li> <li>・練り合いから自分の記述を見直し、より分かりやすい記述をかいてみるよう促す。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述したり説明したりすることができる。(学習プリント、発言)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×整数の計算の仕方をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現された記述から、分数×整数の計算について考え、単位分数がいくつあるかを求めるために分子に整数をかけることをとらえられるようにする。</li> <li>・分数×整数の計算は、分子に整数をかければよいことを言葉でまとめるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math display="block">\frac{\bullet}{\blacksquare} \times \blacktriangle = \frac{\bullet \times \blacktriangle}{\blacksquare}</math> </div>	<p>〈考〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×整数の計算を、単位分数のいくつ分とらえて整数のかけ算を基に考えている。(学習プリント、発言、観察)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題をする。</li> <li>・授業の感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×整数の計算の仕方を式や図、言葉で表し、答えを求めるよう伝える。</li> <li>・正しくはっきりかけている記述を賞賛し、紹介する。</li> <li>・計算の仕方や考え方をかいてみての感想を中心に書くよう伝える。</li> </ul>	<p>〈知・理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×整数の計算の仕方を式や図、言葉を用いて、理解できる。(学習プリント)</li> </ul>

(5) 本時の展開 (5/12時間目) 【追究する過程】

10月23日(木)

ねらい

- ・分数÷整数の計算の仕方や考え方を自分の表現で表すことができる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ホワイトボード

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を知る。</li> <li>分数÷整数の計算をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習と同じように、分数のわり算の計算の仕方や考え方を式や図、言葉でかいていくことを伝える。</li> </ul>	
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数÷整数の計算をする。</li> <li>3dl で <math>4/5</math> m<sup>2</sup>塗れるペンキがあるとき、1dl で塗れる面積を求める式を考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文を読み、分かっていることや求めることを見つけ出し、小数の問題を思い出し、問題の数量関係が何算で求められるかを考えていけるよう助言する。</li> <li>・分数÷整数も小数のわり算と同じ数量関係であったことを確認し立式できるようにする。</li> <li>・式が <math>4/5 \div 3</math> となることを確認しておく。</li> </ul>	
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数÷整数の計算の仕方や考え方を自分の表現で表す。</li> <li><math>4/5 \div 3</math> の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使ってかこう。</li> <li>・数直線や面積図などをかいて答えの求め方を考え、式や言葉で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数のわり算の計算の仕方や考え方をかいたものを提示し、かき方の参考にするようにする。</li> <li>・<math>4/5 \div 3</math> の答えの出し方を、式だけでなく図や言葉などを用いて、友だちに分かるようにかいていくことを確認する。</li> <li>・答えは間違えていても良いので、その答えになった考えをかくよう促す。</li> <li>・数直線や面積図をかく際は、考えた筋道が分かるように、段階を分けてかくよう促す。</li> <li>・まず、3dl で <math>4/5</math> m<sup>2</sup>塗れるペンキを図で表すようにする。</li> <li>・その図から、1dl で塗れる面積を求めるやり方が分かるように次の図を表していくようにする。</li> <li>・前時の学習で出されたよい記述にしていくポイントを提示し参考にしていく。</li> <li>・うまくかき表せない児童や取り組めない児童に対しては、見本となる図を提示し、活動を促していく。</li> <li>・早くできた児童には他のかき方も考えてみるよう助言する。</li> <li>・自分なりの記述ができている児童を賞賛し必要に応じて紹介する。</li> <li>・早くかけた児童にはホワイトボードにかき写しておいてもらう。</li> </ul>	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数÷整数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述しようとしている。(学習プリント、観察)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の時間にそれぞれの表現を練り合う活動をするを知らせる。</li> <li>・学習プリントは途中でもよいことを知らせ回収するようにする。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使った自分の表現で記述することができる。(学習プリント)</li> </ul>

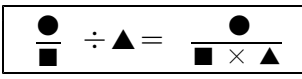
(6) 本時の展開 (6/12時間目)【追究する過程】

10月27日(月)

ねらい

・分数÷整数の計算ができ、その計算の仕方や考え方を表現できる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ホワイトボード、児童の学習プリント拡大コピー、練習問題プリント

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の課題を知る。</li> <li>分数÷整数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使って分かるようにかけるようにしよう。</li> <li>式や数直線、面積図などをかいて求めた考えを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような図でも子どもなりの表現を認めていく。</li> <li>よくできたものだけでなく、不十分なものや間違えたものも学習に生かせることを伝え、互いの考えや意見を出しやすい雰囲気作りに努める。</li> <li>前時にホワイトボードにかいた記述や、学習プリントを拡大コピーしたものを掲示する。</li> </ul> <p>[面積図から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4/5 を3等分すると一番小さい1マスは1/15。それが4こで4/15になる。</li> </ul> <p>[わり算の性質を用いて]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> <math display="block">4/5 \div 3 = (4/5 \times 5) \div (3 \times 5)</math> <math display="block">= 4 \div (3 \times 5)</math> <math display="block">= 4 / (3 \times 5) = 4/15</math> </li> </ul> <p>[同じ大きさの分数を用いて]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> <math display="block">4/5 \div 3 = (4 \times 3) / (5 \times 3) \div 3</math> <math display="block">= (4 \div 3 \div 3) / (5 \times 3)</math> <math display="block">= 4 / (5 \times 3) = 4/15</math> </li> </ul>	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の計算の仕方や考え方を発表しようとしている。(発言)</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの表現を練り合う。</li> <li>計算の仕方や考え方が正しくはっきり分かるかき方をみんなで考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろに表現されたものを「考えがはっきり分かる」「考えた順序でかく」を視点に、どちらが分かりやすいか比較できる表現を提示し、意見が出やすいようにする。</li> <li>正しくかくことに気付けるように、基の1㎡の大きさが違う表現と同じ表現を提示し、どのようにかいたら考えが分かるか、比較できるようにする。</li> <li>順序を分けてかくことに気付けるように考えた筋道の途中が抜けた二つの図の表現と三つの図で記述した表現を提示し、どのようにかいたら考えが分かるか、比較できるようにする。</li> <li>出された意見はよい記述にしていくポイントとして板書しまとめておく。</li> <li>練り合いから自分の記述を見直し、より分かりやすい記述をかいてみるよう促す。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述したり説明したりすることができる。(学習プリント、発言)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数÷整数の計算の仕方をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現された記述から、分数÷整数の計算について考え、同値分数をつくりだしている点から分母に整数をかけることをとらえられるようにする</li> <li>分数÷整数の計算は、分母に整数をかければよいことを言葉でまとめるようにする。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>〈考〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分数÷整数の計算を、1にあたる量が単位分数のいくつ分なのかを求め計算ととらえて考えている。(学習プリント、発言、観察)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題をする。</li> <li>授業の感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数÷整数の計算の仕方を式や図、言葉で表し、答えを求めるよう伝える。</li> <li>正しくはっきりかけている記述を賞賛し、紹介する。</li> <li>計算の仕方や考え方をかいてみての感想を中心に書くよう伝える。</li> </ul>	<p>〈知・理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分数÷整数の計算の仕方を式や図、言葉を用いて、理解できる。(学習プリント)</li> </ul>

(7) 本時の展開 (7/12 時間目) 【まとめる過程】

10 月 29 日 (水)

ねらい

- ・ 分数×分数の計算の仕方や考え方を自分の表現で表すことができる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ホワイトボード

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の課題を知る。</li> <li>分数×分数の計算をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの分数×整数、分数÷整数の学習を生かして、分数×分数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉でかいていくことを伝える。</li> </ul>	
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分数×分数の計算をする。</li> <li>1dl で 4/5 m<sup>3</sup>塗れるペンキがあるとき、2/3dl で塗れる面積を求める式を考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題文を読み、分かっていることや求めることを見つけ出し、小数の問題を思い出し、問題の数量関係が何算で求められるかを考えていけるよう助言する。</li> <li>・ 分数×分数も小数のかけ算と同じ数量関係であったことを確認し立式できるようにする。</li> <li>・ 式が <math>4/5 \times 2/3</math> となることを確認しておく。</li> </ul>	
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分数×分数の計算の仕方や考え方を自分の表現で表す。</li> <li>4/5 × 2/3 の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使ってかこう。</li> <li>・ 数直線や面積図をかいて答えの求め方を考え、式や言葉で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分数×整数、分数÷整数の計算の仕方や考え方で記述を参考にするよう促す。</li> <li>・ <math>4/5 \times 2/3</math> の答えの出し方を式、図や言葉を用いて、友達に伝わるように段階を追ってかいていくことを確認する。</li> <li>・ 答えは間違えていても良いので、その答えになった考えをかくよう促す。</li> <li>・ まず、1dl で 4/5 m<sup>3</sup>塗れるペンキを図で表すようにする。</li> <li>・ その図から、2/3dl で塗れる面積を求めるやり方が分かるように次の図を表していくようにする。</li> <li>・ 数直線や面積図をかく際は、考えた筋道が伝わるように、段階を追ってかくよう促し、前時までの学習で出されたよい記述にしていくポイントを提示し参考にするよう助言する。</li> <li>・ うまくかき表せない児童や取り組めない児童に対しては、見本となる図を提示し、活動を促していく。</li> <li>・ 早くできた児童には他のかき方も考えてみるよう助言する。</li> <li>・ 自分なりの記述ができていない児童を賞賛し必要に応じて紹介する。</li> <li>・ 早く書けた児童にはホワイトボードにかき写しておいてもらう。</li> </ul>	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分数×分数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述しようとしている。(学習プリント、観察)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の時間にそれぞれの表現を練り合う活動をするを知らせる。</li> <li>・ 学習プリントは途中でもよいことを知らせ回収するようにする。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使って、段階を追って記述することができる。(学習プリント)</li> </ul>

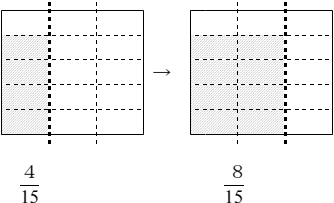
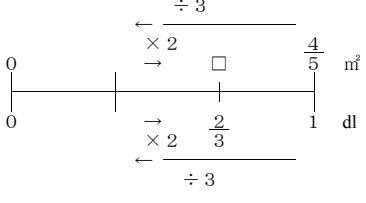
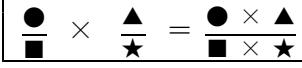
(8) 本時の展開 (8/12時間目)【まとめる過程】

10月30日(木)

ねらい

・分数×分数の計算ができ、その計算の仕方や考え方を表現できる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ホワイトボード、児童の学習プリント拡大コピー、練習問題プリント

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を知る。</li> <li>分数×分数の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使って分かるようにかけるようにしよう。</li> <li>・式や数直線、面積図などをかいて求めた考えを発表する。</li> </ul>	<p>〔面積図や数直線から〕</p>   <p> <math>\frac{4}{15}</math>                      <math>\frac{8}{15}</math> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/3dlの面積を求め、それを2倍すれば、  <math>\frac{4}{5} \times \frac{2}{3} = (\frac{4}{5} \div 3) \times 2</math>  <math>= 4 / (5 \times 3) \times 2</math>  <math>= (4 \times 2) / (5 \times 3) = 8/15</math></li> <li>〔商分数から〕</li> <li>・<math>\frac{2}{3} = 2 \div 3</math>なので、  <math>\frac{4}{5} \times \frac{2}{3} = \frac{4}{5} \times 2 \div 3</math>  <math>= (4 \times 2) / 5 \div 3</math>  <math>= (4 \times 2) / (5 \div 3) = 8/15</math></li> </ul>	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の計算の仕方や考え方を発表しようとしている。(発言)</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの表現を練り合う。</li> <li>計算の仕方や考え方が正しくはっきりと伝わるかき方をみんなで考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな表現されたものを「正しく伝える」「考えがはっきり分かる」「考えた順序でかく」を視点に、どのようにかいたら考えが伝わるか比較できるように表現を提示にする。</li> <li>・今までの学習で出されたよい表現のポイントを踏まえてかけているか考え、意見を出すよう促す。</li> <li>・根拠の分かりやすい表現を考えられるよう図と言葉の表現と図と式の表現を提示しどのようにかいたら考えが伝わるか、比較できるようにする。</li> <li>・筋道立てて考えられるように図を重ねた記述の表現と段階を追って分けて記述した表現を提示し、どのようにかいたら考えが伝わるか、比較できるようにする。</li> <li>・出された意見はよい記述にしていくポイントとしてまとめておく。</li> <li>・練り合いから自分の記述を見直し、より分かる記述をかくよう促す。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方や考え方を式や図、言葉を用いて考え、記述したり説明したりすることができる。(学習プリント、発言)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×分数の計算の仕方をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×分数の計算は、いくつに分けるかを求めるために分母同士をかけ、分けたものがいくつあるかを求めるために分子同士をかければよいことを言葉でまとめるようにする。</li> </ul> 	<p>〈考〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×分数の計算を、単位分数のいくつ分ととらえ既習の計算と関連づけて筋道立てて考えている。(学習プリント、発言、観察)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題をする。</li> <li>・授業の感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×分数の計算の仕方を図で表し、答えを求めるよう促す。</li> <li>・正しくはっきりかけている記述を賞賛し、紹介する。</li> <li>・計算の仕方や考え方をかいてみての感想を中心に書くよう伝える。</li> </ul>	<p>〈知・理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×分数の計算の仕方を式や図、言葉を用いて、理解できる。(学習プリント)</li> </ul>

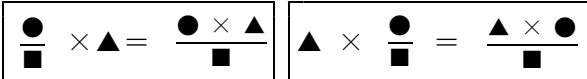
(9) 本時の展開 (9/12 時間目)

10 月 31 日 (金)

ねらい

- ・ 分数の計算で、途中で約分できる場合の計算の仕方を理解し、計算ができる。
- ・ 整数×分数の計算の意味を理解し、計算ができる。

準備 教科書、ノート、ドリル

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の課題を知る。</li> <li>いろいろな計算の仕方を考えよう。</li> <li>・ 途中で約分できる計算をする。</li> <li><math>3/8 \times 4</math> の計算の仕方をくふうしてみよう</li> <li>・ 計算の仕方を発表し工夫を考える。</li> <li>・ 途中で約分するよさを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの学習を思い出し、計算してみる。</li> <li>・ 分数×整数で約分ができる問題を提示する。</li> <li>・ 考えた筋道が分かるよう正しく式を続けるよう助言する。</li> <li>・ 計算の仕方は式で表すようにするが、図を使ってかいている児童も認める。</li> <li>・ 約分をしている、していないにかかわらず板書しみんなで考えるようにする。</li> <li>・ 計算の仕方で工夫できることがあるか見付けるようにする。</li> <li>・ 計算の途中で約分できるときは、約分してから計算すると簡単にできることに気付くようにする。</li> <li>・ 答えを出してから約分すると分母と分子が大きくなり、約分することが大変になることに気付くようにする。</li> <li>・ 分数×分数の問題を提示し、途中で約分したものとしめないものを比べ、よさを確認する。</li> <li>・ 頭の中で約分をして記述しない児童にはきちんとかいていくように促す。</li> <li>・ 約分したことが分かるようにきちんと数式をかいていくよう促す。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算の途中で約分すると簡単に処理できることのよさに気づき、約分してから計算できる。(発言、観察、ノート)</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整数×分数の計算をする。</li> <li><math>3 \times 2/5</math> の計算の仕方を考えよう。</li> <li>・ 分数×整数、整数×分数の計算の仕方をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整数を分母が1の分数と考えれば、分数×分数の計算の考え方でできることに気付くようにする。</li> <li>・ 既習の分数×整数の計算も同じように考えて計算できることに気付くようにする。</li> <li>・ 分数÷整数について意見が出たら、次の分数÷分数の学習につながる考えとして認める。</li> <li>・ 分数×整数と整数×分数の計算も分母が1の分数と考えると分数×分数の計算の仕方でまとめることができることを確認する。</li> <li>・ 計算するときは、整数を分子にかければよいことを確認する。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整数×分数の計算ができる。(ノート)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 練習問題をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 途中で約分できる問題を用意し、約分の際に数式の記述に気を付けて計算するよう助言する。</li> </ul>	

(10) 本時の展開 (10/12時間目)

11月4日(火)

ねらい

・辺の長さが分数の場合も面積の公式を使えることを図を使って考え、面積を求めることができる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ドリル

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を知る。</li> <li>・辺の長さが分数のときに面積の公式が使えるか確かめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正方形、長方形、三角形、平行四辺形の面積の公式を確認しておく。</li> <li>・縦 <math>3/5</math> m、横 <math>7/8</math> mの長方形の面積を求めることを伝える。</li> </ul>	
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求める長方形を図に表す。</li> <li>・もとになる面積がいくつになるか考える。</li> <li>・面積の公式で計算する。</li> <li>・公式が使えることをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積図をかくためのプリントを配布し、目盛りをもとに求める長方形をかくようにする。</li> <li>・縦 <math>3/5</math> m、横 <math>7/8</math> mの長方形の図を表し、どのようにすれば面積が求められるか考えられるようにする。</li> <li>・今までの図のように段階に分けてかいていくよう促す。</li> </ul> <div data-bbox="630 817 1053 1243" style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">1 m</p> <p style="text-align: center;">1 m</p> <p style="text-align: center;"><math>\frac{3}{5}</math> m</p> <p style="text-align: center;"><math>\frac{1}{5 \times 8}</math> m<sup>2</sup>      <math>\frac{7}{8}</math> m</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×分数の計算の図を思い出すようにする。</li> <li>・考えが出ない場合は、辺の長さが整数の長方形を提示し、<math>1</math> m<sup>2</sup>をもとにして、それがいくつ分あるかを求めることが面積を求めることになることを確認する。</li> <li>・縦は1 mを5等分、横は1 mを8等分していることから1 m<sup>2</sup>をいくつに分けたことになるか図にかき入れるようにする。</li> <li>・40等分されたことから、<math>1/(5 \times 8) = 1/40</math> m<sup>2</sup>を単位として、長方形の面積を求める。</li> <li>・<math>3/5 \times 7/8</math> を分数のかけ算で求めた結果と面積図で求めた答えを比べ、辺の長さが分数の時も公式を使えることを確かめる。</li> <li>・図形の面積は辺の長さが分数で表された場合でも、整数と同じように公式を使って求められることを確認する。</li> </ul>	<p>〈知・理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の場合も面積の公式が適用できることを理解している。</li> </ul> <p>(ノート)</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな図形の面積を求める問題を用意し、公式を使えるようにする。</li> <li>・辺の長さを真分数だけでなく、仮分数や帯分数で表したものも用意する。</li> </ul>	



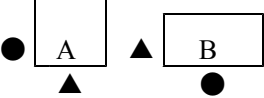
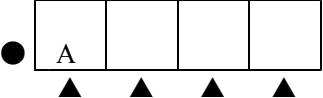
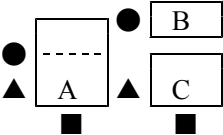
(11) 本時の展開 (11/12時間目)

11月6日(木)

ねらい

- ・分数でも交換、結合、分配の法則が成り立つことが分かり、その計算のきまりを使って計算できる。

準備 教科書、ノート、問題の拡大図、ドリル

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を知る。</li> <li>いろいろな長方形の面積を求め比べてみよう。</li> <li>・AとBの面積を求めて比べよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦と横の辺の長さがどちらも分数の値で縦と横の数値を入れ替えた長方形を提示し、それぞれの面積を求めることを伝える。</li> <li>・Aの面積=●×▲、Bの面積=▲×●をそれぞれ計算で求めるようにする。</li> <li>・答えが等しくなることから、分数のかけ算においても交換法則が成り立つことを確認する。</li> </ul> 	
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aを4つ合わせた面積の求め方を比べよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦と横の辺の長さがどちらも分数の値で面積の等しい長方形が複数あるときの面積を求めることを伝える。</li> <li>・Aの面積を求め、それが4こ分の面積を計算で求めるようにする。</li> <li>・Aが4こ分の長方形と見て、横の長さ(▲×4)を求めてから、面積を計算で求めるようにする。</li> <li>・答えが等しくなることから、分数のかけ算においても結合法則が成り立つことを確認する。</li> </ul> 	●×▲が■こ
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aの面積とB、Cの面積を求めて比べよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦と横の辺の長さがどちらも分数の値で長方形を分割した面積を求めることを伝える。</li> <li>・Aの面積=(●+▲)×■を計算で求めるようにする。</li> <li>・Bの面積=●×■とCの面積=▲×■をそれぞれ計算で求め、合わせるようにする。</li> <li>・答えが等しくなることから、分数のかけ算においても分配法則が成り立つことを確認する。</li> </ul> 	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの法則をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辺の長さが分数で表された長方形の面積を比べることで、交換、結合、分配法則が成り立つことを言葉でまとめる。</li> <li>・●×▲=▲×●</li> <li>・(●×▲)×■=●×(▲×■)</li> <li>・(●+▲)×■=●×■+▲×■</li> </ul>	<p>〈知・理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の場合も交換結合、分配の法則が成り立つことを理解している。</li> </ul> <p>(ノート)</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算のきまりを使って計算する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの法則を使って工夫して計算できるようにする。</li> <li>・途中で数式がとぎれたり、演算記号が間違えたりしないよう気を付けて計算するよう助言する。</li> </ul>	

(12) 本時の展開 (12/12 時間目)

11月7日(金)

ねらい

- ・いろいろな分数の計算の仕方や考え方を式や言葉、図で記述し、計算ができる。

準備 教科書、ノート、学習プリント、ドリル

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目(評価方法)
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を知る。</li> <li>分数のかけ算わり算を正しく計算をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習を振り返り、いろいろな問題に挑戦することを伝える。</li> </ul>	
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章題の意味を読み取り計算する。</li> <li>計算の仕方や考え方が分かるように式や図、言葉を使って答えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章題から問題の意味をつかみ、正しく立式できるようにする。</li> <li>・かけ算、わり算の混じった問題を用意する。</li> <li>・立式に迷っている児童がいたら、数直線をかいて考えるよう助言する。</li> <li>・立式ができたらずちに答えを求めるだけでなく、計算の仕方や考え方が分かるようにかくよう促す。</li> <li>・計算の仕方や考え方は式だけでなく、言葉や図でも表すようにする。</li> <li>・正しくはっきり分かりやすくかくために考えた筋道を段階に分けて記述するよう促す。</li> <li>・練り合いでまとめたポイントを確認し、友だちに分かる記述になるよう助言する。</li> <li>・正しい答えを確認するだけでなく、分かりやすく記述している児童を賞賛し、紹介する。</li> </ul>	<p>〈表・処〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の乗除の計算の仕方や考え方を式や図、言葉を使って記述したり説明したりできる。(学習プリント、観察、発言)</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数式を正しくかいて計算する。</li> <li>いろいろな分数の計算を正しく式で表そう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算方法を確認する。</li> <li>・分数×整数は分母はそのまま、分子にその整数をかける。</li> <li>・分数÷整数は分子はそのまま、分母にその整数をかける。</li> <li>・分数×分数は分母どうし、分子どうしをかける。</li> <li>・計算の途中の間違った式の問題を提示し、そこから正しい計算の仕方に修正できるようにする。</li> <li>・計算の途中が抜けた式の問題を提示し、そこから正しい計算の仕方が導けるようにする。</li> <li>・計算の決まりを使う問題を提示し、正しく数式にかけようようにする。</li> </ul>	<p>〈知・理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の乗除の計算の意味やその計算の仕方を理解している。(ノート)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を正しく用いて問題を解決できるようにする。</li> <li>・文章問題は図をかいて答えるようにする。</li> <li>・いろいろな分数の計算に習熟できるようドリル学習を行うようにする。</li> </ul>	

小数のかけ算をふりかえろう ( 月 日 ) 名前 \_\_\_\_\_

問題 1d1で板を  $2.5 \text{ m}^2$ ぬれるペンキがあります。  
このペンキ 2d1では板を何  $\text{m}^2$ ぬれますか。

式

計算の仕方や考え方 (図や式、言葉でかきましょう)

直した計算の仕方や考え方

授業の感想 (分かったことや思ったことを書きましょう)

-----

-----

小数のわり算をふりかえろう ( 月 日 ) 名前 \_\_\_\_\_

問題 3dlで板を2.4㎡ぬれるペンキがあります。  
このペンキ1dlでは板を何㎡ぬれますか。

式

計算の仕方や考え方 (図や式、言葉でかきましょう)

直した計算の仕方や考え方

授業の感想 (分かったことや思ったことを書きましょう)

-----

-----

問題 次の□に入る数字をかきましょう。

1 あるものを3つに分けた2つ分は □ です。

2  $\frac{3}{5}$  は、 $\frac{1}{5}$  の □ 分です。

3  $\frac{7}{4}$  は、 $\frac{1}{4}$  の □ 倍の大きさです。

4  $\frac{5}{8}$  は □ の5分です。

5 1リットルは、□ リットルの3分のかさです。

6 □ を5つに分けた2つ分は、 $\frac{2}{5}$  m です。

7  $\frac{2}{7} = \square \div \square$

8  $\frac{2}{5}$  をいろいろな図でかきましょう。

授業の感想（分かったことや思ったことを書きましょう）

-----

-----

分数のかけ算とわり算を考えよう① ( 月 日 ) 名前 \_\_\_\_\_

問題 1d1 で板を  $\frac{2}{5}$  m<sup>2</sup> ぬれるペンキがあります。  
このペンキ 2d1 では板を何 m<sup>2</sup> ぬれますか。

式

計算の仕方や考え方 ( 図や式、言葉でかきましょう )

直した計算の仕方や考え方

授業の感想 ( 分かったことや思ったことを書きましょう )

---

---

分数のかけ算とわり算を考えよう① 練習問題プリント ( 月 日)

名前 \_\_\_\_\_

○問題を読んで、計算の仕方や考え方を式や図、言葉で分かるようにかいて答えましょう。

〔問題〕

1 dl で  $\frac{3}{5}$  m<sup>2</sup>の板をぬれるペンキがあります。このペンキ3 dl では板は何m<sup>2</sup>ぬれますか。

○計算をしましょう。

①  $\frac{2}{9} \times 4 =$

②  $\frac{4}{7} \times 2 =$

③  $\frac{3}{8} \times 5 =$

④  $\frac{4}{7} \times 3 =$

分数のかけ算とわり算を考えよう② ( 月 日 ) 名前 \_\_\_\_\_

問題 3dl で板を  $\frac{4}{5}$  m<sup>2</sup> ぬれるペンキがあります。  
このペンキ 1dl では板を何 m<sup>2</sup> ぬれますか。

式

計算の仕方や考え方 ( 図や式、言葉でかきましょう )

直した計算の仕方や考え方

授業の感想 ( 分かったことや思ったことを書きましょう )

---

---



分数のかけ算とわり算を考えよう② 練習問題プリント ( 月 日 )

名前 \_\_\_\_\_

○問題を読んで、計算の仕方や考え方を式や図、言葉で分かるようにかいて答えましょう。

〔問題〕

3 dl で  $\frac{2}{5}$  m<sup>2</sup>の板をぬれるペンキがあります。このペンキ 1 dl では板は何m<sup>2</sup>ぬれますか。

○計算をしましょう。

①  $\frac{2}{9} \div 3 =$

②  $\frac{3}{4} \div 7 =$

③  $\frac{3}{2} \div 4 =$

④  $\frac{8}{7} \div 3 =$

分数のかけ算とわり算を考えよう③ ( 月 日 ) 名前 \_\_\_\_\_

問題 1d1 で板を  $\frac{4}{5}$  m<sup>2</sup> ぬれるペンキがあります。  
このペンキ  $\frac{2}{3}$  d1 では板を何 m<sup>2</sup> ぬれますか。

式

計算の仕方や考え方 ( 図や式、言葉でかきましょう )

直した計算の仕方や考え方

授業の感想 ( 分かったことや思ったことを書きましょう )

---

---

分数のかけ算とわり算を考えよう③ 練習問題プリント ( 月 日)

名前 \_\_\_\_\_

○問題を読んで、計算の仕方や考え方を式や図、言葉で分かるようにかいて答えましょう。

〔問題〕

1 dl で  $\frac{3}{5}$  m<sup>2</sup>の板をぬれるペンキがあります。このペンキ  $\frac{3}{4}$  dl では板は何m<sup>2</sup>ぬれますか。

○計算をしましょう。

①  $\frac{7}{8} \times \frac{3}{4} =$

②  $\frac{3}{5} \times \frac{2}{7} =$

③  $\frac{4}{9} \times \frac{2}{3} =$

④  $\frac{7}{9} \times \frac{5}{8} =$



分数のかけ算とわり算を考えよう⑤ ( 月 日 ) 名前 \_\_\_\_\_

○問題を読んで、計算の仕方や考え方を図と式で書いて、どのように考えたか分かるように答えましょう。(言葉で説明をかいてもいいです)

〔問題〕

1 dl で  $\frac{3}{5}$  m<sup>2</sup>の板をぬれるペンキがあります。このペンキ 3 dl では板は何m<sup>2</sup>ぬれますか。

図

式

答え \_\_\_\_\_

〔問題〕

1 dl で  $\frac{3}{5}$  m<sup>2</sup>の板をぬれるペンキがあります。このペンキ  $\frac{4}{5}$  dl では板は何m<sup>2</sup>ぬれますか。

図

式

答え \_\_\_\_\_

〔問題〕

5 mの重さが  $\frac{6}{7}$  kgのパイプがあります。このパイプ 1 mの重さは何kgですか。

図

式

答え \_\_\_\_\_